

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: モーターディグリーザー
会社名	: 株式会社創新
住所	: 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	: 03-3918-3100
FAX番号	: 03-3918-3511
推奨用途	: 自動車用エンジン洗浄剤
使用上の制限	: 業務使用

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	急性毒性 吸入(蒸気)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓、血液)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(中枢神経系、血液)	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

## GHSラベル要素

## 絵表示またはシンボル



## 注意喚起語

## 危険有害性情報

危険  
可燃性液体  
吸入すると有害  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓、血液の障害のおそれ  
長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系、血液の障害のおそれ  
長期継続的影響により水生生物に有害

## 注意書き

## 安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
環境への放出を避けること。  
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。  
皮膚に付着した場合: 多量の水/(石鹼)で洗うこと。  
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

## 応急措置

保管	皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。 直ちに医師に連絡すること。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
廃棄	換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
成分

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
エチレングリコールモノブチルエーテル	3-7%	111-76-2	2-407,2-2424	該当	該当	非該当	非該当
メタケイ酸ナトリウム	1-5%	6834-92-0	1-508	非該当	非該当	非該当	非該当
2-アミノエタノール	1-5%	141-43-5	2-301	該当	該当	第一種	非該当*1
ドデシルベンゼンスルホン酸	1-5%	27176-87-0	3-1884	非該当	非該当	第一種	非該当
ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体	1-5%	68584-22-5	2-1265	非該当	非該当	第一種*2	非該当

\*1 閾値未満のため非該当

\*2 直鎖C10-14の範囲が該当

## 4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	:	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	:	直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤	:	粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、散水
使ってはならない消火剤	:	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	:	火災によってCO <sub>2</sub> 、CO、等の有害ガスを発生するおそれがある。 蒸気は引火点以上の温度では、火花、炎或は他の着火源により着火する。 蒸気は空気より重く、着火源までフラッシュバックすることがある。 空容器でも残留物が残っていると着火の危険性があります。
特有の消化方法	:	自給式呼吸器などのフル装備の保護具なしで火災現場に立ち入らないこと。 消火作業は可能な限り風上から行う。 危険な蒸気と分解生成物から安全な距離および安全な場所から消火する。

## 6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。  
 風上から作業し、風下の人を退避させる。

#### 環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

##### 回収

少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス雑巾等でよくふき取る。  
 多量の場合土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などから容器に回収する。

##### 中和

「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

##### 二次災害の防止策

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

### 7. 取扱い上及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

##### 取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

##### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

##### 衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

##### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。

日光から遮断すること。

##### 安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理濃度

安衛法	エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm
-----	--------------------	-------

#### 許容濃度

日本産業衛生学会(2022年度)	エチレングリコールモノブチルエーテル	最大許容濃度	20ppm
	2-アミノエタノール		3ppm
ACGIH(2020年度)	エチレングリコールモノブチルエーテル	TWA	20ppm
	アミノエタノール	TWA	3ppm
		STEL	6ppm

#### 保護具

呼吸用保護具	有機ガス用防毒マスク
手の保護具	耐浸透性保護手袋
眼の保護具	安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	赤
臭い	レモン臭
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	63°C
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	12.5
動粘性率	情報なし

溶解度	水に対して	情報なし
n-オクタノール/水分配係数 (log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度		1.05g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		情報なし
その他データ		情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常取り扱いでは安定。
危険有害反応可能性	通常取り扱いでは起らない。
避けるべき条件	過熱、炎、火花
混触危険物質	強酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性			
経口	エチレングリコールモノブチルエーテル	ラットLD <sub>50</sub>	470mg/kg
	メタケイ酸ナトリウム	ラットLD <sub>50</sub>	1153mg/kg
	2-アミノエタノール	ラットLD <sub>50</sub>	1720mg/kg
	ドデシルベンゼンスルホン酸	ラットLD <sub>50</sub>	1260mg/kg
	ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体	ラットLD <sub>50</sub>	775mg/kg
経皮	エチレングリコールモノブチルエーテル	ウサギLD <sub>50</sub>	435mg/kg
	2-アミノエタノール	ウサギLD <sub>50</sub>	1000mg/kg
	ドデシルベンゼンスルホン酸	ウサギLD <sub>50</sub>	631-1000mg/kg
	ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体		2000mg/kg
吸入	エチレングリコールモノブチルエーテル	ラットLC <sub>50</sub>	450-486ppm(4時間)
皮膚腐食性/刺激性	2-アミノエタノール、メタケイ酸ナトリウム		区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	2-アミノエタノール、メタケイ酸ナトリウム		区分1
呼吸器感受性又は皮膚感受性	2-アミノエタノール	皮膚感作	区分1
生殖細胞変異原性	情報なし		
発がん性	情報なし		
生殖毒性	エチレングリコールモノブチルエーテル		区分2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	エチレングリコールモノブチルエーテル		区分1、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓
	2-アミノエタノール		区分1、中枢神経系、呼吸器、肝臓
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	エチレングリコールモノブチルエーテル		区分1、血液系
	2-アミノエタノール		区分1、中枢神経系
誤えん有害性	情報なし		

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期(急性)	ドデシルベンゼンスルホン酸	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	ドデシルベンゼンスルホン酸	区分2
残留性・分解性		情報なし	
生体蓄積性	LogPow	エチレングリコールモノブチルエーテル	0.81
		ベンゼンスルホン酸のアルキル(C=10~16)誘導体	2
		2-アミノエタノール	-1.91
土壌中の移動性		情報なし	
オゾン層への有害性		情報なし	

## 他の有害影響

情報なし

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

## 汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

海上輸送： IMOの規定に従う。

国連番号 UN1760

品名 その他の腐食性液体、他に品名が明示されていないもの(2-アミノエタノール、メタケイ酸ナトリウム溶液)

国連分類 8

容器等級 III

海洋汚染物質 -

航空輸送： ICAO/IATAの規定に従う。

国連番号 UN1760

品名 その他の腐食性液体、他に品名が明示されていないもの(2-アミノエタノール、メタケイ酸ナトリウム溶液)

国連分類 8

容器等級 III

緊急時応急措置指針番号(NAERG) 154

## 国内規制

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う

航空規制情報 航空法の規定に従う

陸上規制情報 消防法の規定に従う

## その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

直射日光を避けて輸送する。

## 15. 適用法令

## 化学物質排出管理促進法

第一種指定化学物質

2-アミノエタノール (平均1.0%)

ドデシルベンゼンスルホン酸 (平均3.0%)

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。) (代表値:2.0%)

## 労働安全衛生法

通知・表示義務物質

エチレングリコールモノブチルエーテル、2-アミノエタノール

特化則

非該当

有機則 第2種有機溶剤等

エチレングリコールモノブチルエーテル

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 消防法

2m<sup>3</sup> 以上で指定可燃物 可燃性液体類

## 化審法

優先評価化学物質

エチレングリコールモノブチルエーテル、2-アミノエタノール

## 16. その他情報

ITW Evercoat SDS Revision Date 09-Dec-2020、Version 2に対応

JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法(ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS))」に対応

NITR-CHRIP

GHS政府分類結果

ACGIH TLVs and BELs 2020

該当：令和5年化管法改訂にともなうSDS改訂

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。